

初心者向け手打ちそば講座

※広報11月号掲載

- 日 時 12月14日(土) 9時30分～11時30分
 ○場 所 三田ヶ谷公民館 ○対 象 市内在住、在勤の方
 ○定 員 10名(先着順) ○費 用 1,000円
 ○講 師 麺遊倶楽部伝承会
 ○持ち物 エプロン、三角巾、持ち帰り用の容器、
 そば打ち用具一式(お持ちの方)
 ○申込み 11月9日(土)から費用を添えて公民館へ



探検！ 三田ヶ谷小学校！！

今年最後の三田ヶ谷小学校と一緒に探検しませんか？

- 日 時 12月12日(木)
 9 時 30 分～11時30分
 ○集合場所 三田ヶ谷小学校
 ○定 員 20名(先着順)
 ○費 用 無料
 ○申 込 み 11月29日(金)までに
 三田ヶ谷公民館へ



みたかやふれあいレディース学級

気軽にエッセイ創作教室

身近な題材を使って文章を書いてみませんか？

- 日 時 12月6日(金)
 9 時 30 分～11時30分
 ○場 所 三田ヶ谷公民館
 ○対 象 三田ヶ谷地区在住の女性
 ○定 員 10名(先着順)
 ○費 用 無料
 ○講 師 高鳥 邦仁
 ○申込み 11月29日(金)までに
 三田ヶ谷公民館へ



“三田ヶ谷グラウンド・ゴルフ大会”

☆令和6年10月6日(日)開催☆

- ◎優勝 鈴木 定雄 様
 ◎準優勝 櫻井 洋 様
 ◎第3位 赤坂 賢二 様

11月の休館日

毎週火曜日、3日(祝)、4日(祝)、23(土)

☆裏面もご覧ください☆

健康運動教室

日 時：11月13日（水）10時～11時30分

持ち物：タオル、飲み物

場 所：三田ヶ谷公民館和室

お問合せ 健康づくり推進課

はつらつ教室

日 時：11月22日（金）10時～11時

持ち物：タオル、飲み物

場 所：三田ヶ谷公民館和室

お問合せ 高齢介護課

「いいでえー！！三田ヶ谷！ ～歴史と文化～」

（第7回 母子健康センター）

昭和29年に誕生した「**千代田村**」（三田ヶ谷・村君）は、当時先駆的な事業を行っています。その一つに数えられるのは、**母子健康センター**の設置です。

昭和30年当初、日本の農業人口が国の総人口の40%近くを占めていたことから、農村の健全性にこそ新しい国作りのカギになるとし、昭和31年9月、千代田村は**第一生命保険相互会社**から全国唯一の「**健康農村助成地区**」に選定されました。

昭和34年1月に健康母子センターが建設され、同年4月に事業が開始。母子の健康を増進し、死産や幼児の死亡の撲滅を図るべく、「**助産**」と「**指導**」の二部門が設けられました。センター内には3ベッドが設置され、指導部門では栄養指導講習や高血圧相談、乳幼児や妊婦検診を行っていました。

ちなみに、昭和42年度における助産入所者数は、1日平均7.8人で、年3回行われた母親学級では延べ52人が受講しています。また、同年度における千代田地区の出生数63人の内、43人は母子健康センターの入所者という記録が残っています。

昭和38年には、**秩父宮妃殿下**が母子健康センターを視察されました。そして同54年、長年の総合的な健康農村育成事業の推進が賞され、羽生市千代田地区健康文化委員会へ「**保険文化賞**」が贈られるのでした。この受賞を記念した石碑が、三田ヶ谷公民館の敷地内に建っています。母子健康センターはもうありませんが、「**保険文化賞受賞記念碑**」は健康福祉の面から戦後日本を支えた三田ヶ谷地区の功績をいまに伝えています。

母子健康センター開業後の10年後、健康農村活動10周年を記念し、「**健康農村記念室**」が第一生命相互会社から、同センターに寄贈されました。



公民館主事・高島